

伝染性紅斑(リンゴ病)

症状

- ・パルボウイルスB19というウイルスによる感染症です。
- ・潜伏期は2～3週間です。
- ・症状は、赤いブツブツ(紅斑)が頬と上肢・下肢主体に出ることが特徴で、上肢・下肢はレース状になっていきます。
- ・症状が強いと体幹にも出現します。
- ・発疹は、通常1週間くらいで消えますが、再び出現することもあります。・発熱を伴ったりすることもあります。・小児では少ないです。
- ・成人では、関節痛を起こすこともありますが、リウマチなどと違い、自然に回復します。

治療

- ・パルボウイルスB19に効く薬剤はないので、治療は対症的になります。
- ・また、予防接種もありません。

家庭で注意すること

- ・妊婦が感染すると、胎児の異常(胎児水腫)や流産を起こすことがあります。
- ・溶血性貧血の患者さんが感染すると重い症状を起こすことがあります。

登園・登校のめやす

- ・発疹が出た時には、ほとんど感染力はないので、幼稚園・保育園の登園停止や学校の登校停止の疾患にはなっていません。